



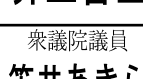
市議会議員 砂田喜昭 Tel 67-4322



衆議院議員 藤野保史



参議院議員 たけだ良介



衆議院議員 井上哲士

衆議院議員 笠井あきら

新型コロナウイルス感染症対策で議論

6月議会は18日、19日に一般質問が行われ、市議16人中11人が質問に立ち、新型コロナウイルス感染症対策に議論が集中しました。砂田市議の質問を紹介します。

自粛に伴う家賃支援を

【砂田市議】 新型コロナウイルス感染症対策による宿泊業や飲食店、製造業の営業自粛に伴う固定費の支援について、どうなったのか。家賃に相当するものの支援金を出せないか。

暮らしを守るために活用できる財源は

【砂田市議】 2020年度補正予算で新型コロナウイルス感染症への対応に財政調整基金(市の貯金を取り崩した額はいくらか。国はそれを地方創生臨時交付金(市には国の1次補正予算で1億2400万円が交付され、2次補正でさらに追加予定)で補填でき

【産業建設部長】 国では売上の落ち込んだ事業者の家賃の支援策として、中小企業では最大で月額100万円を6ヶ月間、個人事業主では最大で月額50万円を6ヶ月間支援する第二次補正予算が国会で成立したところである。国の制度を利用できるよう情報の提供、周知に努めたい。

上下水道料金の減免を

【砂田市議】 上下水道料金の減免をできないか。

【総務部長】 市の補正予算で取り崩した財政調整基金は3356万5千円だ。



【産業建設部長】 4月分から支払猶予の申出があれば対象にする。基本料

子どものためのインフルエンザ予防接種 補助金・1回2千円に復活を

【砂田市議】 新型コロナウイルス感染症の第二波、三波に備えるためにも、インフルエンザなどの予防接種が重要になる。今年度から半減した子どものためのインフルエンザ予防接種補助金を1回2千円に復活させるとともに、さらにコロナが収束するまでは無料にすべきとの声もある。新型コロナウイルスとインフルエンザの感染が重なったら、たいへん重篤化することが懸念される。この冬に向けて改善を求めたい。

【民生部長】 インフルエンザ予防接種はたいへん有効な措置であり、より多くの子どもたちが接種できるよう今年度より予防接種助成対象期間を拡大する。いま現在は、補助金の見直しはできないと考えている。

【砂田市議】 新型コロナウイルス感染症の第二波、三波に備えるためにも、インフルエンザなどの予防接種が重要になる。今年度から半減した子どものためのインフルエンザ予防接種補助金を1回2千円に復活させるとともに、さらにコロナが収束するまでは無料にすべきとの声もある。新型コロナウイルスとインフルエンザの感染が重なったら、たいへん重篤化することが懸念される。この冬に向けて改善を求めたい。

【砂田市議】 新型コロナウイルス感染症の第二波、三波に備えるためにも、インフルエンザなどの予防接種が重要になる。今年度から半減した子どものためのインフルエンザ予防接種補助金を1回2千円に復活させるとともに、さらにコロナが収束するまでは無料にすべきとの声もある。新型コロナウイルスとインフルエンザの感染が重なったら、たいへん重篤化することが懸念される。この冬に向けて改善を求めたい。

就学援助の復活、改善を

【砂田市議】 就学援助について、今年度予算によって就学援助を打ち切られた人は何人か、改善、復活を求めたい。

【教育委員会事務局長】 外れる方は約25%と見込んでいます。昨年実績は小中学校合わせて236人で、25%減少するとして177人で、60人ほどが受けられなくなると推定している。なお、入学準備金は既に削減前の基準で支払済である。

【砂田市議】 今年度に入って申請締切後も、新型コロナウイルス感染症で家計が急変した家庭は就学援助対象に加えること。

【教育委員会事務局長】 就学援助は前年所得で判定しているが、国は家計の急変等によって困窮している世帯については申請時の状況で判断し、柔軟な対応を行うことも可としている。具体的な運用については、今後、先進的に取り組んでいる市町村もあるので、認定基準などを調べて、学校を通じて保護者の皆さんに知らせていきたい。

【砂田市議】 学校休校中の給食費相当額も就学援助として支給すること。

【教育委員会事務局長】 休校期間中の給食費について支給することとしている。

【解説】子どものインフルエンザ予防接種をめぐる議論

子どものインフルエンザ予防接種は13歳未満2回、13歳以上1回が必要で、その接種費用は1回2500円から3500円です。この負担がたいへんで、接種を受けないとか、1回だけにしようというところもありました。2017年度から市は1回2千円補助することにして、接種率を58.7%まで引き上げました。若いお母さん方からたいへん喜ばれました。

ところが市は今年3月議会でこの補助金を半減したので、市の第七次総合計画、第二期小矢部ルネサンス総合戦略にてらしても間違いです。小矢部ルネサンス総合戦略(人口減少対策)では子どものためのインフル

12月議会・民生文教常任委員長報告でも「学校を通じて保護者に積極的に周知を図る」よう求まりました。補助金削減は、市議会の意向にも逆らうもので、この冬までには改善すべきです。